

## 『頭頸部エコー アトラス』第1刷 正誤表

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書（2016年6月10日 初版第1刷）に以下の誤りがございました。訂正させていただきますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

該当箇所	誤	正
10 ページ図 4a,b 内	下顎管	下顎 <b>骨</b>
11 ページ図 5a,b 内	下顎管	下顎 <b>骨</b>
17 ページ図 10b 内	顔面後静脈	<b>下顎</b> 後静脈
33 ページ表 2(悪性・境界)	明瞭粗糙	明瞭粗 <b>雑</b>
36 ページ図 30	筋上皮がん(中悪性度, 右耳下)	筋上皮がん(中悪性度, 右耳下 <b>腺</b> )
59 ページ図 4a		
59 ページ図 4b	左右口腔底	<b>右</b> 口腔底
62 ページ図 1c	(横断像, 左顎下部より)	(横断像, <b>右</b> 顎下部より)
65 ページ図 5a	(右顎下部より)口腔・中咽頭	( <b>オトガイ</b> 下部より)口腔・中咽頭
69 ページ図 9b	(右顎下部より)	( <b>左</b> 顎下部より)
70 ページ図 10a	右中咽頭側壁に境界	<b>舌左側縁</b> に境界
72 ページ図 3b		
74 ページ図 4d	 <p>a.b.c の観察部位と方向</p>	 <p>a.b の観察部位と方向</p>
75 ページ図 5d	 <p>a.b.c の観察部位と方向</p>	 <p>a.b の観察部位と方向</p>
77 ページ図 8a 内	頸部食道がん	<b>頸部</b> 食道がん
82 ページ図 1c		
83 ページ図 2c 内	咽頭蓋	<b>喉</b> 頭蓋

92 ページ図 2	炎症を伴う右側顎下腺は正常な左側に比べ、びまん性に腫脹し、血流の亢進、導管が拡張している。顎下腺と皮下脂肪との境界も不明瞭となっている。	Basedow 病では様々な程度で甲状腺がびまん性に腫大し、内部エコーが不均質となりエコーレベルが低下することが多い。未治療のもでは、カラードプラで甲状腺全体に血流信号の増加を認める。
98 ページ図 8	境界明瞭で粗造	境界明瞭で粗 <b>雑</b>
108 ページ図 2c 内	下顎管	下顎 <b>骨</b>
116 ページ図 11b		
123 ページ図 17b	(右中頸部横断像)	( <b>左</b> 中頸部横断像)
123 ページ図 17c	(右中頸部縦断像)	( <b>左</b> 中頸部縦断像)
131 ページ図 25a	(左頸部横断像)	( <b>右</b> 頸部横断像)
138 ページ図 29d	(左頸部縦断増)	(左頸部縦断 <b>像</b> )
141 ページ図 32b 内	総頸静脈	総頸 <b>動</b> 脈
142 ページ図 1 内	総頸総動脈	総頸動脈
144 ページ 4a 内	神経上脈	神経上 <b>膜</b>
144 ページ図 5	頸運動神経由来	運動神経由来
158 ページ 3(3行目2か所)	迷入節	迷入 <b>説</b>
158 ページ図 4a	甲状軟骨境界明瞭	境界明瞭
168 ページ図 6a,b	(左頬部縦断像)	( <b>右</b> 頬部縦断像)
176 ページ図 7	 頸部横断像 頸部縦断像	 頸部横断像 頸部縦断像
176 ページ図 7b	<b>頸部横断像</b> で同一平面法 針全体を確認しながら穿刺できるが、穿刺ルートが限られ、障害物や血管の存在によっては穿刺できないこともある。	<b>頸部縦断像</b> で交叉法 針が見えないところで血管近くを通る可能性がある。
176 ページ図 7c	<b>頸部縦断像</b> で交叉法 針が見えないところで血管近くを通る可能性がある。	<b>頸部横断像</b> で同一平面法 針全体を確認しながら穿刺できるが、穿刺ルートが限られ、障害物や血管の存在によっては穿刺できないこともある。